

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
卒業研究	2	通年	演習	2	大迫 千佳子

○授業の到達目標及びテーマ

テーマ「発達に応じた運動遊び」

発達年齢に応じた運動遊びを取り入れることにより保育教育者と子どものより良い関係性を育み、個々の育ちを豊かに援助することができる。

研究内容で「模倣遊び・サーキット遊び・伝承遊び」等を知り、遊びの動作方法または特徴等のポイント習得できる。実践活動における準備として、環境構成及び道具を創意工夫するための個々の知識を発揮しチームで話し合い、技術を考察し計画から実践を展開していく。更には改善点をも重視し技術のステップアップを図る。

○授業の概要

子どもの年齢における基本動作を理解することで、年齢に応じた体の動きを捉えた運動遊びを考える。サーキット・伝承・模倣・道具を使う遊び等様々な方法を探る。保育教育実習で活動準備（導入方法）子どもへの言葉かけ・環境構成学ぶ。主に演習を繰り返し行う。

○授業計画

- 第1回：ミーティング（年間計画・クルーピング）
- 第2回：研究テーマを考える。子どもの発達の理解（教育・保育要領解説書）
- 第3回：運動遊び活動（サーキット・伝承・道具を使ったもの）
- 第4回：子どもの運動発達理解（表作成）・運動遊び実践計画（グループ検討会）
- 第5回：運動遊び実践（以上児）学生の主体性（アイディア）を活かす。
- 第6回：運動遊び実践（未満児）学生の主体性（アイディア）を活かす。
- 第7回：教育実習活動取り組み振り返りと改善計画
- 第8回：現場で活かす計画 ・ 動画視聴
- 第9回：模倣遊びの理解（動物園見学）
- 第10回：道具を使った遊びを考える。
- 第11回：道具作成（身近な材料を用い作成）
- 第12回：運動遊び実践（未満児）学生の主体性（アイディア）を活かす。
- 第13回：運動遊び実践（以上児）アゼリアホール使用
- 第14回：運動遊び取り組みの子どもへの効果を考える。
- 第15回：演習
- 第16回：演習
- 第17回：実習振り返り
- 第18回：卒業研究発表会に向けた計画
- 第19回：まとめ（パワーポイント作成）
- 第20回：まとめ（パワーポイント作成）

第21回：研究発表会に向けた準備（発表プログラム作成及び計画）

第22回：研究発表会に向けた準備（環境構成作成）

第23回：研究発表会に向けた準備

第24回：研究発表会に向けた準備

第25回：研究発表会に向けた準備

第26回：卒業研究会リハーサル

第27回：卒業研究発表会

第28回：卒業研究抄録集 ① 考察

第29回：卒業研究抄録集 ② まとめ・課題

第30回：研究感想と情報交換

○テキスト

随時配布

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館

「保育の友」（全国社会福祉協議会）

「子どもの発達がわかる本」（龍谷大学教授 金子龍太郎氏）（藤女子大学准教授 吾田富士子氏）

「子どもの運動遊び」（松本短期大学教授 柳沢秋考氏）

○学生に対する評価

目標の到達度（60%） 受講態度（20%） 講義への取り組み（20%）